
みいちゃん

彩葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みいちゃん

【コード】

N7709K

【作者名】

彩葉

【あらすじ】

初作品

感受性の高い子供の目線で書いてみました。
まだ未完成です。

無垢な少女

今日は栗色の髪を二つ結びにしてみました。

首をかしげてお澄まし顔を試みます。鏡に映る二つの毛束は流れるように揺れました。

「みいちゃんはもう自分で出来るんだよ！すごいでしょ！」

「……………」

だれも答えません。

だれもいませんでした。みいちゃんは少しだけ寂しくなりました。

すると鏡の中のみいちゃんが「今日のみいちゃんとってもとってもかわいいね！」と言いました

みいちゃんは嬉しくなって頭をゆらゆら揺らしました。

鏡の中のみいちゃんも一緒にゆらゆら揺れました。

ゆらゆらゆらゆらゆらゆら。

ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら。

みいちゃんも、鏡の中のみいちゃんも、にこにこ笑顔です。

しばらくしてママがみいちゃんを呼びました。

「学校に行く時間ですよ」

みいちゃんは「はあい」と返事をして急いで階段を降ります。

けれど途中で階段が「痛い！！」と怒りました。

みいちゃんは「もう！それが仕事でしょ！」と言いたかったのですが、いつもパパにどしどし踏まれてかわいそうなのでゆっくりそつと降りてあげました。

「みいちゃんはいいい子だね」そういわれると、みいちゃんは嬉しくなつてくすくす笑いました。

出かける前はポケットをぽんぽんと叩いて、ティッシュとハンカチが入っていることを確認します。

ぽんぽん

きちんと入っています。

そしてもう一度玄関にある鏡を見てにっこり笑って笑顔のチェック。真っ白な歯と茶色がかつたパツチりおめめ。

今日もばつちりなみいちゃんは玄関を開けて外に出ます。

ひとつ、小さな風が吹き抜けます。

春の匂いがしました。

顔をあげると目の前に学校がありました。
学校は大きな口を開けて子どもをたくさん飲み込んでいました。
学校は怖い目でみいちゃんを見下しました。

「……………」

その時先生が話しかけてきました。

「みいちゃんおはよう」

先生は笑顔を張り付けたような顔で見下ろしてきました。

「ん？どうしたの？」

そういつて赤い手を伸ばしてみいちゃんを捕まえようと思いました。
みいちゃんは耐えられなくなって逃げ出しました。

足を交互に出します。

みぎひだりみぎひだりみぎひだりみぎひだりみぎひだりみぎひだり
ミギヒダリミヒダリミギヒダギヒダリミギヒミギリヒダヒダリミギ
ヒミリギミギミギミギミギミギミギミギミギミギミギミギミギミギ
……………？

足をどうやって動かすのかわからなくなってしまいました。
困りました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7709k/>

みいちゃん

2010年10月12日06時57分発行